

平成25年9月30日
水産庁

水産物の市況について（平成25年9月及び10月）

—東京都中央卸売市場における平成25年9月（平成25年8月21日～9月20日集計）の市況と、
平成25年10月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成25年9月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べやや増加となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいに推移しました。

II 平成25年10月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量はアキサケ漁が盛漁期に入り、前月と比べアキサケ主体にやや増加すると見込まれる。卸売価格はアキサケはやや弱含みになるものの、全体では横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、需要が強くなることや質が良くなることから卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は質が良くなることもあり横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は山陰沿岸主体に犬吠埼～房総沿岸、九州西方海域）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格は需要期にあることから横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さんま（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2 %	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円/kg）

	9 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
25年	45	888	41	883	45	859
前年	48	780	43	817	48	814

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

（単位：円/kg、%）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	9 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生鮮品）	583	116	107	114
さけ・ます（平均）	845	112	210	140
（ぎんざけ塩蔵品）	684	102	134	105
（あきさけ塩蔵品）	613	100	99	125
（ときさけ塩蔵品）	869	101	121	114
（べにざけ塩蔵品）	1,008	105	128	112
（さけ類冷凍品）	893	121	292	161
さば（生鮮品）	488	119	124	123
するめいか（平均）	460	99	112	119
（生鮮品）	463	98	111	118
（冷凍品）	441	100	123	122
あじ（生鮮品）	596	94	111	121
まぐろ（冷凍品）	1,388	106	107	98
（めばち冷凍品）	968	107	106	96
（きはだ冷凍品）	942	107	95	99
（くろまぐろ冷凍品）	3,757	100	99	108
（みなみまぐろ冷凍品）	1,976	92	80	83
かつお（生鮮品）	780	111	138	126
さんま（生鮮品）	445	75	115	114

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2：9月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成20年～24年の加重平均値。

注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課企画調査班
 代表 03-3502-8111
 内線 6617 岡野、庄田、安井
 直通 03-3591-5612